

未来を開く

長井市立長井北中学校

No78 令和4年 2月 4日

感染予防の徹底を！！

置賜地域でも、感染の拡大が止まらない。日常の活動を再確認し「うつらない」「うつさない」意志を行動で示す時。

今のところ本校では、新型コロナウイルス感染症の発症が危惧(きぐ)される状態には至っておりません。ひとえに、ご家庭での声かけや対応のおかげと感謝申し上げます。今こそ、生徒・教職員そしてその家庭を守るために、新型コロナウイルスの侵入を防ぐことが求められています。そのために、教職員と全校生で次のことを確認しました。

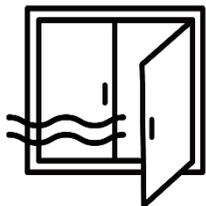
1 登校時：学年・担任の先生が確認

- 昇降口での、必ず手洗または手指の消毒
- 朝の会で、手洗い・手指の消毒を確認(していない時その場で消毒)
- 常時2か所の換気(窓、廊下側のドアを開ける)



2 授業開始の前：教科担任の先生が確認

- 常時2か所の換気確認
(換気不足の時、その場で換気口の確保)



3 2校時終了時：教科担任の先生が確認

- 外の窓と廊下側のドアを開けるように指示して換気

4 給食前：4校時の指導者・学年・担任の先生が確認

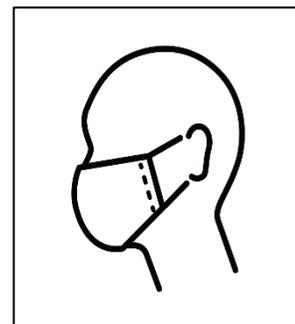
- 石鹸を使って手洗い

5 昼休み：担任の先生が確認

- 歯磨き終了後、窓とドアを開放して換気

6 清掃時：清掃担当の先生が確認

- 窓を開け、換気して清掃
- ドアノブ、手すり、電気のスイッチ等、手が触れるところを集中消毒
- 終了後必ず手洗い、清掃反省カードで確認



7 部活動・委員会・放課後の活動：担当の先生が確認

- 活動前の健康観察、マスク着用
- 終了後の手洗い、下校時のマスク着用

ご家庭でも、「感染予防『我が家のルール』」等の作成など、話題にしていいただければ幸いです。

リモート学習を想定し、一人一台パソコンを使っての健康観察や、授業づくりの研修会を実施しました。



備えあれば、憂いなし。家庭と学校をオンラインで結び、一人一台パソコンを使ってどんな授業ができるかを検討しました。

健康状態の把握や、学習課題のやり取りができることを確認しました。

心のとびら

何が
何でも
始めることだ



「僕も先生のように本をたくさん売って、人に影響を与えたい」と彼らは言う。「それはいいことです。今までにどんなものを書いたの」と尋ねると、たいてい「まだ何も書いたことはありません」という答えが返ってくる。

それでも激励の意味を込めて、「それでは、今何を書いているの」と訊くと、「まだ実際には書いていませんが、アイデアはたくさんあります」と答える。そして、学校を卒業したら、来週になったら、来年になったら、もっと時間ができるとい話になる。

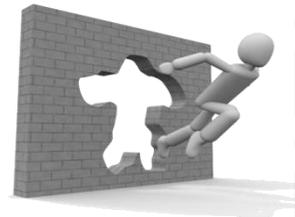
この説明を聞いたとたん、この若者は本を書くことはないだろうと思う。

100冊以上のウエスタン小説を書き、2億3000万部以上を売った作家ルイス・ラムーアは、

「何がなんでも書き始めるのだ。蛇口をひねらなければ、水は流れ始めない」というアドバイスを残している。



望むだけでは足りない。
やる気があるだけでも足りない。
能力があるだけでも足りない。



自分から進んで行動してこそ、成功できるのだ。

出典：「『戦う自分』をつくる 13の成功戦略」三笠書房

バスケットボールのスター選手、エド・マッコリーは、バスケットボール・キャンプで子どもたちにこう言ったという。



「今いい加減にプレーをしている奴は、今もどこかに必ず全力で努力している同レベルの選手がいることを覚えておけ。将来そいつと対戦する日が来たら、絶対お前の負けだぞ」

■「明日から努力する」、という人間は明日も同じことを言う。毎日の少しずつの努力の積み重ねの分しか、人は前に進まない。

■だから・・・「何がなんでも始めることだ」
自分になまけているこの瞬間も、コツコツと努力を続けている人はいる。